上越地域人生の最終段階における医療・ケア協議会の取り組み

1．上越地域人生の最終段階における医療・ケア協議会 の設置

上越地域の状況

【実態】
○上越地域は高齢化率が 3 割を超える超高齢化社会
○上越地域で病気や怪我で救急搬送された人の数は年間 1,000 人弱
　そのうち、15%程度は症状が重く会話が難しい
○命の危険が迫った時に 7 割の人が自分の望みを伝えることができない

課題解決に向けて

上越地域人生の最終段階における医療・ケア協議会が発足
（通称：上越地域人生会議協議会）



目指すところ
- ◆ 医療・ケア関係者と行政が一体となり、人生の最終段階に向けて、本人の意思に添った医療・ケアが提供できる地域づくり
- ◆ もしもの時に医療・ケア関係者に自分の意思を伝える文化の醸成（地域における市民啓発）

国も ACP（人生会議）を推奨しています

ACP(アドバンスケアプランニング)とは
　将来の意思決定能力の低下に備えて自分が望む医療・ケアについて、
　本人が家族や大切な人、医療・ケアチームと繰り返し話し合う取り組み



2．上越地域人生の最終段階における医療・ケア協議会 の主な取り組み

事業展開の柱
- ◆ 医療・ケアを提供する機関、施設の体制整備
- ◆ 市民へ情報発信と人生会議の実践
- ◆ 普及啓発を図る人材の育成

○医療関係者を対象とした人生の最終段階における医療・ケア研修会「ACP を学ぼう」
○市民向け人生会議講演会　　○すこやかに老いるための市民講座（～令和 2 年度）
○啓発媒体（チラシ）の作成・配布　　○上越地域人生会議ノートの作成
○上越地域人生会議をサポートする医療・ケア関係者の実務研修



くわしくは、上越地域振興局健康福祉環境部のホームページをご覧ください。
https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/jouetsu_kenkou/acp.html

上越地域人生の最終段階における医療・ケア協議会
（通称：上越地域人生会議協議会）